

4年次で大学見学会を実施しました。ーR80紹介ー

◆今号の記事執筆とR80選出は、4年次進路委員の田崎君と関谷さんです。ありがとう(´o`)！

文理選択を12月に控えた本校4年次では、11月21日(水)に「大学見学会」を行いました。午前中は全員で東京大学(駒場キャンパス)へ訪れ、午後には文系志望者が一橋大学、理系志望者が東京工業大学へと分かれて見学をしました。東京大学では、小豆川勝見先生による「大学とはどういう場所なのか」についてのガイダンスと本校の卒業生である5回生の羽染実那先輩による大学生活の説明、4回生の木本桜子先輩、高藪弘行先輩によるキャンパスツアーをしていただきました。説明の際には「ここは並木でいうと～にあたるところです」など私たちにもわかりやすく話してくれました。小豆川先生には、大学選びをするときには、興味のある大学や研究所などへ実際に行って、その大学を知ることから始めることが大切だというアドバイスをいただきました。茨城県の出身と言うことで私たちになじみ深い話もしてくださいました。

一橋大学では、本校の卒業生3回生の栗山智史先輩と5回生の白根康太先輩が大学のシステムや内容を説明してくださり、一般の学生の方がキャンパスツアーをしてくださいました。東京工業大学では、広報課の方や大学院生の方からの説明の後、自由に見学をし、キャンパスの雰囲気を味わいました。正門近くにある100年記念館では、ロボット研究やホログラム技術などの東京工業大学の歴史的な成果を見学することができました。今回の大学見学は、私たちの進路を決める上でとても有意義なものとなりました。

■生徒選出のR80■

- 今日は、東大に入学したら最初に行くことになる駒場キャンパスを見学することができ、刺激になった。また、進路選択や将来のことについてもっと考えようと思った。
- 東工大は理系の大学でも文系科目に重点をおいているということを聞き、文理にこだわりすぎないことも大事だと思った。また、時間割が自由なところも魅力的だと思った。
- 「努力した者が成功するとは限らない。しかし成功した者は皆必ず努力している」という一橋大の先輩が紹介してくれたベートーベンの言葉が心に響いた。だからもっと努力しようと思う。
- 苦手分野をそのままにしないことが受験の時にも大事なのだと思った。また、大学に入ってから理数探究が役立つことがわかりました。
- 理系に進みたいと思っていたが、一橋大で文系の楽しさも知ることができた。また、数学が好きだから文系で利用するのもありなのだという視野を広げられた一日だった。
- 二つの大学で共通していたのは、今勉強していることをしっかりやるということだ。つまり、普段からやるべきことを当たり前やるのが合格への近道なのだと思う。
- 緩みきっていたこの時期に見学をしたことで自らの勉強に対する姿勢に危機感を感じた。そのため、後悔しないように勉強に対しての考えを改めようと思った。

